

書影	書名	編著者名	判型	頁	定価	刊行月	ISBN
	うつほ物語 子ども流離譚	富澤萌未 著	A5	286	7480	3	9784877374570
		物語の周縁にあると思われてきた子どもたちの流離・受難から、物語全体の構造を捉え直す					
	狭衣物語 〈 <small>メタモルフォーゼ</small> 変容〉	乾澄子 萩野敦子 編	A5	328	7700	4	9784877374600
		『狭衣物語』『夜の寝覚』『浜松中納言物語』等々から「かつてあった（と思われる）」ものの「変容」を読み解く					
	村上春樹 物語を生きる	浅利文子 著	4/6	312	3520	5	9784877374587
		『回転木馬のデッド・ヒート』『ノルウェイの森』『スポーツニクの恋人』『海辺のカフカ』『1Q85』『騎士団長殺し』を中心に					
	佐多稲子 政治とジェンダーのはざまて	小林裕子 著	A5	368	4180	6	9784877374594
		プロレタリア文学の潮流に飛び込み、階級格差・男女差別の構造の原因に気づいた佐多稲子の文学の成り立ちを明らかにする					
	宇治拾遺物語を読む 中世説話論	葛綿正一 著	A5	512	15400	12	9784877374648
		『宇治拾遺物語』の説話を読み解き、饗応と交換、パラドクスと自由について考える試論					
	架橋する言葉 坂口安吾と時代精神	山根龍一 著	A5	304	3960	12	9784877374624
		仏教とマルクス主義、小林秀雄と『近代文学』時代を特徴づけた精神のあり方と坂口安吾の作品はどのように切り結んだのか絡み合う糸を丹念に解きほぐす					
	詩の外包	九里順子 著	4/6	268	2640	12	9788777374655
		詩は外なるものに包まれ、外なるものを包み込んで成立する。詩・昭和・歌謡曲……包み包まれる関係性の中で見えてくる、生きられた時間の諸相。					